



麻布幼稚園だより 4月号

平成28年4月8日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

「桜のように力強く」

園長 大島 美知代

ご入園・ご進級おめでとうございます。平成28年度が始まりました。園庭の桜も咲きほこり、子どもたちの登園を心待ちにしていました。子どもたちも新たな気持ちで登園し、幼稚園で元気に過ごしてくれるのを楽しみにしています。

最近の日本は、温暖化の影響でしょうか、桜の開花が早まってきています。早い時は3月中旬に咲き始め、4月の始業式、入園式の頃には桜吹雪となってしまうことが多いと感じています。本園の桜も今年は3月下旬の終業式にほころび始め、春季休業日中に満開となりました。

今年、桜の咲く順番が例年とは違う、というニュースを見ました。例年だと日本列島の南の地方から咲き始めます。九州地方が咲き、四国地方が咲き、となりますが、今年は例年とは違う順に咲き始めたという状況だったそうです。それはなぜか？天気キャスターの話では、「桜は寒さを経験し、寒い時に「寝てエネルギーを貯める」。本来寒いはずの冬が暖冬だった。そのため桜は十分に眠っておらず、エネルギーが貯まっていない。だから開花が遅れたのではないか」と言っていました。また違う天気キャスターは「桜は冬の寒さで目覚め、春の暖かさで咲くのではないか」と言っていました。自然の摂理は詳しく私は分かりませんが、「いつも東京より早く開花し、満開になる南の地方の桜がまだ5分咲き」と聞いた時には不思議だと思っていました。その天気キャスターの話聞いて私は納得しました。

桜は目で見て分かるほど成長も早く、枝をぐんぐん伸ばしています。桜の花は寒さを感じ十分にエネルギーを貯めた結果、寒い季節を乗り越え、目覚め、自信をもって咲いています。麻布幼稚園の園庭には「さくらんぼ」、「ソメイヨシノ」、「八重桜」と桜の木があります。「さくらんぼ」の木は花を咲かせ、実を付け、子どもたちに自然の味を教えてください。「ソメイヨシノ」や「八重桜」はきれいな花を付け、自然の美しさを子どもたちに教えてください。初夏には緑の葉を付け、暑い時には日陰となり、子どもたちを守ります。そして秋には葉の色を変え、きれいな色取りで子どもたちを楽しませてくれます。

冬の寒さに耐え、花を咲かせるという話を聞いてから桜を見る目が私は変わりました。これからの1年間、楽しいこともたくさんあることでしょう。いろいろな体験をして悔しい思いもすることでしょう。自分で考えて事を成し遂げて誇らしい気持ちを感じる時があれば、うまくいかずに投げ出したくなる時もあるでしょう。頑張っても、残念な結果に終わり、悲しい気持ちになる時もあるでしょう。でもどんな時にも麻布幼稚園の桜は、静かに子どもたちを見守り、いつでも応援しています。

平成28年度の園児数は昨年度より増え、75名でのスタートとなりました。子どもたちの成長を願う全保護者と幼稚園の教職員が力を合わせ、「力強く」進んでいきましょう。

